



特定非営利活動法人 ゆずりは学園

学園長
杓名 和子さん インタビュー

様々な生き方や答えがある。
正しい答えは、
必ず子供自身が持っている。
だから、そっと寄り添い
支えていけばいい。



▶ゆずりは学園 校舎

特定非営利活動法人 **ゆずりは学園**

【事務局】

田原市田原町池の原15-3
TEL:0531-22-3515 FAX:0531-22-7761

田原校：田原市野田町田尻15-14
豊川稲荷校：豊川市豊川栄町21 梅原ビル2F

kutsuna_ike@yahoo.co.jp

ゆずりは学園 検索



▶カウンセリング棟

▶ゆずりはの森 タヌキ橋

▶ゆずりはの森 インディアンハウス

▶ゆずりはの森 陶芸室

▶ゆずりはの森 えんぐり橋

ゆずりは学園のはじまり

もう二十年近く前のことですが、田原市内の中学校で、クラスになじめない生徒をケアする通級指導教室を3年間担当しました。当時、その中学校は校内暴力がひどく、荒れていました。学校には頻りに警察がやって来ており、まさにその光景は、中島みゆきの『世情』が聞こえてくるような、有名学園ドラマの名シーンそのもの。警察には引き渡さないで欲しいと嘆願する私は、問題児を先導していると誤解され、次第に学校以外の場所で子供達を救えないかと考えるようになりました。

また、暴れる子がいる一方で、家にひきこもり、学校に来ない生徒も多くいました。その子たちは「生きていることに意味があるの」「生きていて何が楽しいの」とい

ます。まだ年端もいかない子供達の、このような言葉に何度も胸を締め付けられたのを今でも憶えています。

故郷の自然を生かした箱庭教育

池の原フリースクールを設立した翌年、もっと環境の恵まれた土地を求めて現在の場所に移転し、渥美半島の里地・里山・里海の自然を生かした「海のスクール」「森のスクール」を作りました。人と自然のつながりを肌で感じ、子供達に心の安らぎを与えることで、各々の自立を支援しています。

はじめは中学生を対象としていましたが、卒業後に進学した高校になじめず、戻って来てしまう子供が少なくなかった為、2005年から通信制高等学校提携校と

なり、新入生はもちろん、転入生や中退者の支援に当たると同時に、通信制大学で大学卒業単位を取得できる、星槎大学のサテライトカレッジを開校。名称も現在の「ゆずりは学園」に改名しました。

フリースクールとは

子供達の心の叫びは様々なカタチで現れます。いじめやひきこもり、不登校、暴力。正直、悩む原因が何か分からないこともあります。また、親も同じように悩みを抱え、もがき苦しんでいます。フリースクールの役割は、そのような親子の心に寄り添い、学校や児童相談所、病院などと連携し、正面から向き合うことです。しかし、このような活動は時間で割り切れる仕事とはほど遠く、また、時には重大事件や事故、

自殺など、子どもの命にも関わる緊急事態にも直面します。日々命と向き合う学園の取り組みを通して、社会の課題の大きさに改めて気付かされることも多くあるのです。

ゆずりは学園の役割

学校は学校として、家庭は家庭で、それぞれの立場で正しい方法を考え、子供達の育成に関わっています。しかし、彼らが全ての子供を救えるとは限りませし、逆に子供達を苦しめてしまうことも。まずは彼らを良く理解し、無理に心を開かせるのではなく、寄り添いながら自分の力で扉を開いてもらうこと。ゆずりは学園は、彼らの求める安らぎの場所であり、「もう一つの家族」でありたいと考えています。